

## 春・う・ら・ら

会 期：2019 年 3 月 23 日(土) - 6 月 2 日(日)

うらうらに 照れる春日はるひに ひばり上がり 心悲しも 独ひとりし思へば

この歌は、大伴家持によって詠まれ、万葉集に収められました。穏やかな陽の光が照り、ひばりが舞う春の日に、独り思いに暮れる物悲しさを詠んだ歌です。「うらうらに」とは、日差しがやわらかで長閑なさまを表します。この言葉から「うらら」という言葉が派生しました。

本展では、春の季語とともに当館の所蔵品をご紹介します。季語と併せてご覧いただくことで、四季の移ろいを慈しみ、様々な形で表してきた日本人の美意識を感じていただければ幸いです。

## 春の季語

出典：『広辞苑 第六版』(2013 年)、岩波書店、新村 出編

❁ 斑雪はだれゆき…はらはらとまばらに降る雪。またうっすらと降り積もった雪。まだらになった残雪。はだらゆき。

❁ 春雨はるさめ…春降る雨。特に若芽の出る頃、静かに降る細かい雨。

❁ 花時はなとき…①花の咲く頃。花の盛りの頃。②桜の花の咲く頃。

❁ 花篝はなかがり…夜桜を見るためにたく篝火。

❁ 春の海はる うみ…春のおだやかでのどかな海。

❁ 踏青とうせい…春、青草をふんで野山を散歩すること。青きを踏む。

## 作品リスト

季語	作家名	生没年	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)
斑雪	大橋 廣治 (おおはし ひろじ)	1913 - 2007	いもり池浅春	1977(昭和 52)	油彩、キャンバス	22.0×27.3
春雨	坂口 綱男 (さかぐち つなお)	1953 -	安吾のいる風景 やさしい雨	1982(昭和 57)撮影 1983(昭和 58)プリント	ゼラチンシルバープリント	27.9×35.6
花時	坂口 綱男 (さかぐち つなお)	1953 -	安吾のいる風景 新潟編 5	1982(昭和 57)撮影 1983(昭和 58)プリント	ゼラチンシルバープリント	27.9×35.6
	東松 照明 (とうまつ しょうめい)	1930 - 2012	茨城・瓜連町 カンザン	1988(昭和 63)撮影 1998(平成 10)プリント	カラープリント	101.0×68.0
	東松 照明 (とうまつ しょうめい)	1930 - 2012	福島・郡山市 ソメイヨシノ	1982(昭和 57)撮影 1998(平成 10)プリント	カラープリント	70.3×92.2
	東松 照明 (とうまつ しょうめい)	1930 - 2012	岐阜・清見村 シダレザクラ	1985(昭和 60)撮影 1998(平成 10)プリント	カラープリント	81.0×72.3
	関屋 俊彦 (せきや としひこ)	1912 - 2007	憧憬・万代島1	1954(昭和 29) - 1970(昭和 45)頃	パステル・グワッシュ、紙	20.0×26.5
	齋藤 應志 (さいとう おうし)	1903 - 1981	(春の西堀・三代目市庁舎)	不詳	油彩、キャンバス	45.5×53.0
花篝	横山 操 (よこやま みさお)	1920 - 1973	夜桜	1961(昭和 36)頃	紙本彩色、銀箔	45.7×37.5
春の海	佐野 武次 (さの たけじ)	不詳	臨港丸	不詳	油彩、キャンバス	31.8×41.0
踏青	小島 悦子 (こじま えつこ)	1941 -	海の見える風景	1959(昭和 34) - 1961(昭和 36)頃	紙本彩色	125.0×95.5